

2020.12.29

反核平和ニュース

長崎民医連反核平和委員会

被爆遺構めぐり連続学習会 盛り上がってきていますヨ

10月から始まった「被爆遺構めぐり連続学習会」ですが、第3回まで終了しました。これまでを振り返ります。

【第1回・講師：川尻県連事務局次長】

長崎民医連では「被爆遺構めぐりガイドブック」を作成しており、これをアップデートしていくと、この学習会の目的のひとつです。第1回目は「ガイドブック作成にあたりこだわったところ」



を中心に解説しました。このガイドブックは、それまで長崎で行われてきた遺構めぐりガイドの資料をまとめたものです。原爆の攻撃目標は、広島、小倉、長崎であったこと。8月9日は小倉上空が曇っており、長崎に攻撃目標が変わったこと。長崎がキリスト教徒にとって重要な土地であり、欧米でも知られている事実であること。そんな長崎に原爆が落とされたこと。原爆投下後、遺体もろとも連合軍の飛行場にされたこと。いたたまれず市民が遺体収容を行って荼毘に付したこと…などを記載しています。また、山の稜線などが写っている写真を掲載して現在と比較して想像してもらうようになっています。こだわりポイントは山ほどありちょっと收拾がつかない感じでしたが、基本を押さえることはまずできたのではないかと思います。

【第2回・講師：亀井誠司事務局長】



スタイリッシュなパワーポイントに要点がまとめられた大変わかりやすい学習会となりました。ガイドをするときに「どう『怒り』や『恐怖』を実感してもらうのか」を気がけてガイドをしているということでした。世界大会のガイドは通常午前中に行われます。11:02には参加者全員で黙とうし、「8月9日も日常があった」ということを想像してもらうのだそうです。また、如己堂では、永井隆博

毎回の学習会で Web 併用しています。レコーディングもしていますので、必要な方はご連絡ください。

士の著書「いとしよ」の一説をフィールドワークの参加者に読み上げてもらっているとのことでした。参加者に「参加」してもらうことで、さらに共感を呼ぶことができます。また、ポイントからポイントへの移動の最中も「今、ここを歩いています」と当時の写真を示しながら、参加者に想像してもらいます。参加者にどう実感してもらうのが重要なキーワードになる…そんな学びとなりました。

【第3回・講師：柴田親生顧問】

満を持して…という感じで、第3回は経験豊富な、そして少年時代を地元で過ごした柴田顧問が講師を務めました。テーマは「被爆遺構案内人(私の) 心得・覚書」ということで、基本的なところからマニアックなところまで幅広く解説いただきました。被爆遺構の案内人をする動機として①「よそ者」として、少年時代を過ごした「被爆地」で感じたこと②民医連に入職して、被爆者(の生き様)から学んだこと③戦争体験「第2世代」としての「戦争体験」継承④できる限り、「その時代に、その場にいたら…」を感じてほしい⑤戦争や平和のことをもっと知りたくなるきっかけになったら…ということを紹介してもらいました。特に「ボクのおじいちゃん」「ボクのおやじ」と、戦争に突き進む中でどのように家族が過ごし、どのように戦争に巻き込まれていったのかも話していただきました。時間が足りず、年明けの第4回は柴田顧問の第2弾です！フィールドワークも予定しています。



●1月の被爆遺構めぐり連続学習会●

第4回学習会は1月14日(木)18時から。会場は大浦診療所1階ひだまりです。

第1回フィールドワークは、1月17日(日)10時から。浦上周辺をさるきます。



長崎民医連反核平和委員会からのお知らせ

●核兵器禁止条約・いよいよ発効へ！●

批准が50か国を達成し(現在51か国)、1月22日に発効が決まった核兵器禁止条約。この条約が発効されることで、核兵器は、製造すること、所有すること、使用すること、そして威嚇として使用することも禁止されます。残念ながら、被爆国である日本は参加していません。今後は、一日でも早くこの条約に日本が署名・批准していくような運動を進めていきます。新しい署名もスタートします！！

核兵器禁止条約のカウントダウンをはじめよう！！

「各地でカウントダウンボードみたいなものをつくって、核兵器禁止条約発効を指折り数えましょ！！」ということが提起されています。各事業所で趣向を凝らして、カウントダウンをデコレーション。そして禁止条約を話題にしていきましょう。

また、毎週金曜日の「原発ゼロをめざす長崎あじさい行動」は、1月22日(金)の発効日も行います。そこに集まって記念撮影も計画しています。可能な方はぜひご参加ください。12時10分くらいに市役所水道局前に集合です。